

堅信準備会 第2回 Aクラス 5月25日(日) 11時15分～12時半 Bクラス 5月28日

(水) 18時45分～20時15分

1) スケジュールの確認

第3回 テーマ 「教会生活」(高祖神父)

Aクラス 2025年6月1日(日) 11:15～12:45 ヨセフ ホール

Bクラス 2025年6月4日(水) 18:45～20:15 信徒会館 203b

第4回(ゆるしの秘跡) この日以外にも週日(17時半～18時半)、主日の赦しの秘蹟(9時半～10時半、17時半～18時半)を受けても結構です。

Aクラス 2025年6月8日(日) 11:15～12:45 ヨセフ ホール

Bクラス 2025年6月11日(水) 18:45～20:15 ヨセフ ホール

堅信式

2025年6月15日(日) 10:00～ 主聖堂 アンドレア レンボ 司教司式

集合・受付 8:45～ 岐部ホールのピロティに代父母と一緒に受付をしてください。

リハーサル: 9:40～ 主聖堂。 ミサが1時間半くらいの予定、続いて記念撮影、ヨセフホールで祝賀会

テーマ 「遣わされて使命を果たす」

1) 福音宣教者とは?

カルロ・マリア・マルティーニ『宣教者をそだてるイエス』より 今道瑤子訳 女子パウロ会 1988年 表現を変えています

・「ある人を使徒、ある人を預言者、ある人を福音宣教師、ある人を牧者、教師とされたので
す。」（エフェソ4：11）イエスの体（教会）を建てるのを助けるパウロの言う5つの賜物。

・「使徒」とは、共同体の最初の土台を置き、それを支える人。

・「預言者」は、共同体にとって今、神の計画は何かを解釈する人。

☆「福音宣教師」は、良き知らせを告げる人、神の救いを望む新しい信徒を共同体の仲間に加える
人。（受堅者もその一人になります）

・「牧者」は、形成された群れを導く人。

・「教師」はカテケージスをもって神学や教えを深める人。

☆「福音宣教師」の務めは、司祭・シスターではなく信徒によって果たされます。

☆「福音宣教」には、待つよりも出掛ける活動、出向く活動が大切。

・それと意識しないところで、「良き知らせ」は伝わっていきます。

・一般の銭湯でボランティアが親子と見られたこと。

・最終金を確実にいただけるために、掃除を徹底的にしたこと。

・その人が必要としていることを察する能力（マリア様のカナの婚宴での態度）を磨くこと。

教会の中では、典礼連絡会、広報連絡会、行事連絡会、信徒交流連絡会、福祉連絡会、教会奉仕連絡会などの奉仕活動があります。積極的にご参加ください。

2) 弱さへの共感

・遅い年齢からの入会：神学生の時、勉強ができる人ほど、期待されるというか・・・神学生の食

卓の会話も勉強ができる人が中心で・・・遅く入会した自分なんか・・・

励まし：大学院の入試面接

- ・普通の試験官の質問 「修士論文では何を書きたい？」
- ・岩島神父様のコメント「柴田さんは若く見えるけど学生の倍の年なんだ。大変だろうけどあと2年、頑張ってみてね」

キリスト論など主要科目などを教える岩島神父様、人間味がある助言をくださった・・・

典礼・秘跡担当の具神父様が紹介してくださった記事

弱さを身に負うがゆえに マイケル・J・バックレー

1975年 アメリカのイエズス会の叙階式での説教

司祭にふさわしい資質とはどのようなものであろうか？ 普通私たちは、その人がどんな業績を上げたか？ 知的能力は十分か？ 社会的な適性があるか？ 宗教心が深くて真面目な人であるか？ といったことを問題にする。しかし、バックレーは、そのような評価基準を越えて「この人は司祭になるだけの弱さを十分に持っているか？」が、司祭の本質的な要素だと投げかける。

司祭職とは、自ら弱さを身に負われたキリストに倣う奉仕職であり、丁度それを脅かすように見える弱さのうちこそ、人の苦しみに対する感受性が現れ、相手の心が開かれる。それが司祭職の職務の本質的な奥義だと説く。

「主ご自身、試練を受けて苦しまれたからこそ、試練の中にある者たちを助けることがおできになるのです。・・・この大祭司は、私たちの弱さを思いやることができないような方ではない。罪は犯されなかったが、すべてのことについて、私たちと同じように試練にあわれたのである。・・・彼は自分自身、弱さを身に帯びているので、無知な困っている人々を、思いやることができるのである。」(ヘブライ書 2：18、4：15、5：2)

ヘブライ書では、失敗や恐れ、挫折の体験、自分の弱さにこそ、キリストの奉仕職と司祭職を結ぶ、書かれている。司祭の召し出しには、自分の弱さ、至らなさに留まることが重要。そうでなければ、司祭の生活は成功を追い求め、才能の開花を目指し、世俗化してしまうかもしれない。

また、弱さの理解を誤ると、自分の弱さが司祭職を脅かすものと感じて、以前の決心を考え直すしるしになってしまうかもしれない。

私が言う弱さとは、理想に向かってできる限りの努力をしてもなお残る無能力感である。

一方、無能力感を味わわずに避ける方法もある。自分の将来を脅かすことには関わらない、逆境には立ち向かわない、保証された安定した生活に留まる、恥や痛みから予め自分を守る・・・方法もある。しかし、本物の司祭になるにはイエスの生き方に倣うことが大切である。

「激しい叫びと涙とをもって、ご自分を死から救う力のある方に、祈りを捧げた」(ヘブライ5：

7) イエスは、自分の弱さを身にまとして、身を守ることを徹底的に放棄されました。

弱さは、深い次元で私たちを他の人々と結びつけます。自分の弱さを知ることで、底辺から救いを希望する人たちの闘い・闇・苦渋を感じとれるのです。神の子イエスは、人間の救いのために受肉され、自分自身も「弱さを身の帯びました」。そして、人々の闇・挫折・苦渋を感じ取り、救いに与らせました。

旧約の時代、神はあまりに遠く、現実のことには関わらない方とされていた。しかし、イエスは、受肉し、人間の現実の中に入って、弱さを身にまとして自分を捧げ尽くしました。

私たちも心悩ます多くの難題に、繊細さと誠実さをもって立ち向かいましょう。しかも仕事仲間は気難しく、長上は現場を理解してないこともあるでしょう。状況が悪く、成功の見込みもない場合もあるでしょう。しかし、まさにそのような時こそ、私たちは、私たちが贖う（あがなう）ことができるキリストのように深く現実に入り込むことができます。私たちが感じる弱さは、同じような闘いの中にいる人々への深い思いやりを持つように招いている神の恵みなのです。

「弱さへの共感」に満ちているイエス様、
努力しても自分は足りない。その弱さが、弱い人の心に触れる資質になる。

「うまくいかない」「思ったようにいかない」そういう体験をしていることが、良い司祭、福音宣教者の資質なのです。

「弱さへの共感」がイエス様の教えを生きる資質、伝える資質。

司祭を志す上で、大きな助言をいただきました。

振り返りの質問

・あなたは信仰を伝える難しさを感じたことがありますか？ その難しさが大切な資質と思えますか？

3) たった一人のために

「イエスよ、み国においでになるときに、 イエスよ、私を思い出してください。」(ルカ 23:42)

回心した盗賊、悪の限りを尽くしても人生の最後まで回心の可能性がある。 イエス様は、盗賊を天の国に迎える。美しい話、

けれどもある聖書学者はこのように解説しています。

罪なきイエスが十字架上で全ての人の罪を背負う、これだけ大きな犠牲を払っても救ったのは、この盗賊一人ではないか？ 弟子たちは逃げ去って、群衆はただ見ていただけではないか？ どうして、たった一人の救いのためにイエスさまはむごい死を遂げたのか？ 意外に思われるかもしれませんが、ルカ 23 章の回心して救われる強盗の話は、ルカ 15 章の 3 つのたとえ話、と関係があります。

たとえ話では、1 匹の羊、1 枚の銀貨、1 人の息子という具合に、どれも「1 つ」が強調されてい

ます。羊の場合は、100頭のうちの「1頭」が大事、という常識はずれに不釣り合いです。ところが羊飼いにしろ、父親にしても、見つけ出して大喜びしています。たとえ話は、神様がたった一人の人間、しかも一番小さな人間を大事にすることを示しています。その姿は、イエスさまが十字架上で、人々から見捨てられた強盗を救う神さまのイメージと重なります。たった一人でも、救いが必要な人のために、神さまはどんなことでもされる。どのような犠牲もいとわない。もったいないことではなく、一人の救いが神さまの喜びです。

神様のこのようななさり方は、平等を求める態度とは違います。全体的な結果より、一人の救いを優先させます。

私一人のために、十字架にかかって命を投げ出してくださったイエス様。

私たちの反省として、「全員に満遍なく」「多くの人に気を配ること」を優先する傾向があります。また、多くの人に奉仕している時には、喜びが湧きにくいこともあります。イエスの「1人」を見つけて喜ぶ姿は、人間に対する神の配慮を表しています。「たった一人でも大事」「たった一人に大きな価値がある」。「誰ひとりおろそかにしてはならない。」 「たった一人とは自分のこと」「自分は大勢の中で埋もれた存在ではありません」

一人を優先させるイエス様をどう信仰生活に生かしたらいいのでしょうか？

予定外の依頼が入っても・・・自分がやっと休める時間でも、相手に差し出すと救われる人がいるかもしれない。

「自分には大したことできない」ではなくて「自分にしかできないことがあるんじゃないか？」と問い直してみましょう。

そうしたら、十字架上で盗賊を救ったイエス様に倣うことができます。受難、十字架上でのイエス様から、積極的な意味を見つけていきましょう。

振り返りの質問

Q. たった一人の自分のために神様が計らってくださる感覚がありますか？ 成果を求める社会にあって「たった一人のために」と行動できたことがありますか？

4) 聖人に倣う 小さき花のテレジア

小さき花のテレジアは 1873 年 1 月、フランスのアランソンでテレサ生まれました。父は宝石商。母はアランソンレーズを編む、9 番目の子供の子でした。

「神様が喜ばない、小さなわがままも嘘もよくない」と厳しく躰けられました。

「誰かを悲しませたくない、喜ばせたい。」 テレーズはいつもそう思っていた。

誰かを悲しませたとすると、すぐに大粒の涙が出ました。「ごめんなさい」を繰り返し、許して貰えるまでは安心できない子でした。テレジアは 5 歳の時、「神様を喜ばせることをします」「神様

を悲しませることは絶対しません」とお約束しました。

「15歳になったら、2人の姉がいるカルメル会に入りたい」と願うようになりました。

1887年の聖霊降臨の大祝日の日、庭にいた父に、涙ながらに決心を打ち明けました。

「重大な決心をするには、あまりにも若すぎる」と反対した父も、ついに承諾してくれました。

パパは高い塀のそばにいて、白い小さな花を摘み、神様がどのようにこの花をお咲かせになり、お育てになったか説明してくれました。私は、自分の生い立ちを聞いているような気がしてなりませんでした。

パパからのお話を聞いてテレジアは思いました。「自分は“**小さき花**”のテレジア」 大きなお花が立派、とは思いませんでした。太陽は、小さなお花にも、大きなお花にも、同じようにお日様をくれます。「小さなお花には、少ししかお日様あげません」とは言いません。神様も同じです。一人一人、大きな人にも小さな人にも同じように愛を注いでくれます。**大事に大事に育ててくれます。**

祭壇の前の花束、大きいお花だけじゃなくて小さいお花もあるから綺麗です。大きくても小さくても**自分のお花が咲いてるから綺麗**です。人と比べなくていいです。 自分のお花を咲かせたら、綺麗で、幸せです。

振り返りの質問

Q.あなたはどのような憧れ、願いを込めて洗礼名を選びましたか？ 小さき花のテレジアの話から何を感じましたか？

5) 自分は何を求めているんだろう？

・業績、社会的信用を積み上げたら幸せになると思っていたが・・・毎月のノルマが追いかけてくる。気持ちが休まらない、契約いただいたり、満足いただいたり、紹介客をいただいて充実感はあるけれど・・・12年間で外車を6代乗り換えたけれど・・・

・いつまで続くだろうか？ 続けたとして何が残るだろうか？

・難しい仕事を終えて車で帰宅する途中「あなたの仕事は他にある」という声を聞いた気がした。

(一度だけではなく、何度も繰り返された。これは何だろうか？)

召命担当の指導者から「原理と基礎」を習う (聖イグナチオの霊操 #23)

・人間が造られたのは、主なる神を賛美し、敬い、仕えるためであり、こうする事によって、自分の靈魂を救うためである。又、地上の他のものが造られたのは、人間のためであり、人間が造られた目的を達成する上で、人間に助けとなるためである。従って人間は、そのものが自分の目的に助けとなる限り、それを使用すべきであり、妨げとなる限り、それから離れるべきである。であるから、私達の自由意志に任せられ、禁じられていないものであれば、全ての被造物に対して偏らない心を育てなければならない。従って私達の方からは、病気よりも健康を、貧しさよりも富を、不名誉よりも名誉を、短命よりも長寿等を欲する事なく、ただ私達が造られた目的へよりよく導いてくれるものだけを望み、選ぶべきである。

・「神様を賛美し、敬い、仕える」 お客様と会社に仕える人生、月に2度のボランティア→神様

を頭に入れてなかった。

「自分の靈魂を救う」 頑張っても途方もない、実のあるものを残したい、人生で1つ成し遂げたい→「司祭の望み」は深いところから来ている。

一方で

・けれども、30代も半ばでそんなことできるだろうか？ 今から10年もかけて司祭を目指すのは現実離れしているように感じる。

・運転しながら「お言葉通り、この身になりますように」と唱えてきた。「今回は、ご遠慮します」とは言えず・・・「可能性があるなら」と思い切ることに。

・大学生の時、初めて教会を訪れたときに御婦人から掛けられた「あなたの願い事が叶うといいわね」の言葉。

1つでいいから人生で成し遂げたい。司祭になって神と人ともに仕えたい。教会に通い初めて、10年越しで「わたしの願い事」がわかりました。生き方を大きく変えました。競争社会を生き抜くのと違う生き方が展開されてきました。

まとめ

・洗礼の恵み、堅信の恵み・・・「恵みは過去に縛られない。刷新されていく」 信仰生活に期待をもって歩んでいただきたい。

・期待、ビジョン、励まし、慰めを得る方法を確立する。(私の場合は特に音楽)

・決まったお祈りを生活に取り入れる。(ミサ以外に・・・平和を求める祈り、ロザリオの祈り、とりなしの祈り・・・参考資料)

振り返りの質問

Q. 堅信式に向けてどのような準備をしていきたいですか？ 信仰の行き着く先に思い浮かぶビジョンがありますか？

堅信準備会 第4回 「ゆるしの秘跡」の準備

対象はこれまでにゆるしの秘跡を受けてない方ですが以下の文をご覧になって授かりたい方はどうぞ！

ゆるし秘跡の改善 (長い告解 3つの告白)

カルロ・マリア・マルティーニ『宣教者をそだてるイエス』今道瑤子訳 女子パウロ会 1988年 (表現を変えています)

教会は「罪」と「罰」をセットで考えるのではなく「罪」と「恵み」をセットで考えます。ゆる

しの秘跡は「罪の状態」「何かに囚われている状態」から「恵みの状態」に戻るためのものです。

このゆるしの秘跡、昔からの受け方に問題も感じてなくて、ゆるしが深く入っている人もいます。

でも、うまくいかない、物足りなさを感じている人もいます。問題は2つ考えられます。①形式的

になって効果を感じない ②秘跡をうけた後、生活が変わらない。 この2点があります。

ある聖書学者は、2つの問題を解決するために「長い告解にしたらどうか？」と提案しています。

長い告解と言うのは、告解を3つ「感謝の告白」「生活の告白」「信仰の告白」に分ける仕方です。

感謝の告白

ゆるしの秘跡の問題点は、気が重くなることです。「自分のどこがまずかったか？」「何を怠

ってしまったのか？」と考え始めると、気がめいってきます。「これだけ頑張っているのに、神様

はさらに要求されるのか？」と身構えてしまう人もいるかもしれません。そうではなくて、ゆるし

の秘跡の最初は、「神様への賛美・感謝」から始めます。「神様は私をどのように導いて下さった

か？」 「最近、神様が私を助けたり励ましたりして下さったのか？」を振り返ります。感謝も賛

美も全くないという方は、特別苦しい状態か、神様からの恩を何も感じなくなっているので神父さ

んに相談して下さい。でも、多くの方は感謝することを見つけられると思うので、ゆるしの秘跡を

「賛美と感謝の告白」から始めて見て下さい。

生活の告白

続いては「生活の告白」です。日頃の生活の中で重荷になっていること「自分はダメだ」とか縛

っているくびきを話します。 心に重くのしかかっていることに、自分の弱さや至らなさも絡んで

いたらそのことをありのままに打ち明けましょう。 私たちは、くびきに縛られて「恵み」から離れ

て「罪の状態」に陥ってしまいます。神様は、ゆるしの秘跡を通して私たちに自由にしようとされていますが、この苦しい部分そのままだとゆるしの秘跡を受けても生活は変わりません。「罪」に陥り「恵み」から離れるには、人によって大体パターンがあります。たとえば、「人と同じことをしてないとダメ」とか「完璧でないとダメ」とか、このようなくびきに知らず知らず縛られています。無気力になって前に進めなくなります。そこから脱するには「妨げ」と「助け」を見分けることが鍵になります。「妨げ」は「やらないとダメだという使命感」かもしれません。あるいは「自己はいくら頑張ってもこの程度」という投げやりな気持ちかもしれません。では、反対の「助け」があるのでしょうか？ 幼稚園で働いて私にとっての「助け」、前に進ませてくれるのは、子どもたちの柔らかくて小さな手でした。「一緒に遊ぼう！」「一緒にご飯食べよう！」と誘ってくれる小さな手です。その感触を思い出すと「自分はダメだとか」という縛りから解かれて「もう少しやってみようか！」という気持ちになります。「助け」をよく見て「妨げ」を脇にやることです。

信仰の告白

最後は「信仰の告白」です。「神様、私はこんなに弱いですが、どうか受け入れて下さい。あなたに最後までついていきたいのです。どうか私を自由にして下さい」と神様に願います。

ゆるしの秘跡のモデルは、放蕩息子のたとえ話にあると言われています。家で待つお父さんは、まだ遠くにいる息子を見つけてゆるして、祝宴までしました。同じように神様は、初めから私たちにゆるすと決めていらっしゃいます。神様は、私たちが心の重荷から解かれて自由になることを願っています。ゆるしの秘跡を授ける司祭も、みなさんが神様の励まし、あわれみ深さを感じ直して、生活が変わることを願っています。

参考文献

カルロ・マリア・マルティーニ『宣教者をそだてるイエス』今道瑤子訳 女子パウロ会 1988年

2025年度 堅信 準備会資料

・「目からうろこ 聖書の読み方 レクチオ・ディビナ入門」 来住英俊著 女子パウロ 2007年
750円

・「目からうろこ 福音書の中イエスを「見る」祈り」 来住英俊著 女子パウロ 2007年 750
円

・「目からうろこ ロザリオの祈り再入門」 来住英俊著 女子パウロ 2001年 750円

・「目からうろこ 詩編で祈る」 来住英俊著 女子パウロ 2005年 800円

・「目からうろこ キリスト者同志の人間関係」 来住英俊著 女子パウロ 2006年 800円

・「目からうろこ とりなしの祈り」 来住英俊著 女子パウロ 2002年 800円

・『目からウロコ ゆるしの秘跡』 来住英俊著 女子パウロ 800円

